

としよだより

(令和7年10月発行)

ご家族の方へ：お子様と一緒に読んでください

まだ夏のなごりがありますが、季節は確実に秋に向かっていきます。そろそろさわやかな風とともに、秋を感じられることでしょう。今月は全国読書週間《10/27(月)～11/9(日)》が行われます。今年の標語は「こころとあたまの、深呼吸」です。本を読むことの楽しさや大切さを再確認するための2週間です。ぜひ、今までに読んでこなかった本も手に取ってみてください。また、この機会に家読をして、家族と一緒に楽しむのもおすすめです。すてきな本と出会えたら、ぜひ感想を聞かせてくださいね。校内読書週間は11/25(火)～11/28(金)です。お楽しみに！

10月といえば、31日はハロウィンですね。「トリック・オア・トリート」といって、おかしをもらう日ではありませんよ。じつは古代ケルトの秋の収穫祭からはじまったそうなのです。かぼちゃや仮装にも意味があるのです。

今月は **ハロウィン特集** です。
図書室の本を一部紹介します。気になる人は、読んでみてください。また、ハロウィンや魔法、魔女などについて調べてみるのもおもしろいですね。



ハロウィン★ナイト！

あいかわまことさく
相川真作
集英社
(913 ア)



めいたんてい
名探偵コナンハロウィンの花嫁

あおやまごうしょうさく
青山剛昌作
小学館
(913 ア)



ルルとうらのハロウィン

あんびるやすこ作
いわさきしょうてん
岩崎書店
(913 ア)



ハリー・ポッターと賢者の石
J.K.ローリング

せいざんそう
静山荘ペガサス文庫
(933 □ 1-1)



「家読」をはじめませんか？



「家読」って
なに？

本を読んでもらったり、本を読んだ感想を家族や身近な人と伝え合うことで、一緒に本を楽しみ、コミュニケーションを深めることを目的としています。たくさんの本に出会うことによって、豊かな感性や表現力が育まれます。

なかなか時間が取れず、まだ「家読」をされていない方も、この機会にぜひ家族とふれ合って本の世界を楽しんでいただきたいと思います。

「家読」って
どうやればいいの？

「家読」にむずかしい決まりはありません。家族で本を楽しむのが「家読」です。
我が家の「家読」スタイルをつくってみましょう。

家族に本を
読んであげよう

一緒に
本を選ぼう

一緒に
本を読もう

本を読んだ感想を
話そう

おすすめの本を
おしえてあげよう



「家読」におすすめの本

*1～3年生には

ともだち(谷川俊太郎)・ごきげんなすてご(いとうひろし)・おさるのまいにち(いとうひろし)・ペレのあたらしいふく(エルサ・ベスコフ)・手ぶくろを買いに(新美南吉)・くまの子ウーフ(神沢利子)・どうぞのいす(香山美子)・けんかのきもち(柴田愛子)・しゅくだい(いもとようこ)など・・・たくさんあります。さがしてみてね。

*4～6年生には

ルドルフとイッパイアッテナ(斉藤洋)・きまぐれロボット(星新一)・きもち(ジャン・ケイン)・二年間の休暇(ジュール・ベルヌ)・魔女の宅急便(角野栄子)・ウエズレーの国(ポール・フライシュマン)・精霊の守り人(上橋菜穂子)・モモ(ミヒャエル・エンデ)・ハッピーノート(草野たき)など・・・どんな本をえらんでも、家読できますよ。